

2021 年 10 月 15 日（金）更別村からのお知らせ

更別村スーパーシティ住民説明会を開催しました。

多くのご意見をいただきました。下記の結果となりますのでご報告いたします。

1、実施

更別村スーパーシティ構想住民説明会（10 月 13 日 19：00～21：00）

参加者：26 名

2、意見内容と回答

（意見）

国会図書館の図書について、更別村に住所を移した時点で借りることができなくなりました。大学の資料・初版本等を取寄せたい場合、受け手の図書館の対応ができないため更別村ではできないこととなっているようだ。関西に住んでいた場合には、できていたが、なぜ対応できないのか？国会図書館・大学の図書を受け取れるようにはどうしたらよいのか検討していただきたい。

（村長回答）

直ちに調査したい。デジタル化で何故つながることができないのか？電子図書ができない理由も確認します。

（意見）

スーパーシティで図書館の整備が描かれているが、スタジオがついているとか武蔵野プレイスにあるような図書館用途の広がりが見えるようなそういったものができないか？

（村長回答）

公共施設の建て替えが控えている。他の町村と比べて今の施設は劣っているのではないかと考えている。隣の町村には文化ホールがあったりする。子供たち、大人が集って、自分のやりたいことや勉強したり、カフェで休んだり、東京や他町村には複合的な魅力のある公共施設も多くある。村の力だけではできない。スーパーシティの指定がされると文化的な部分を整備するとした場合、住民が参加する区域会議が立ち上がり意見をいただきながら、文化的施設を整備したい夢がある。

（意見）

1 月の行政区の懇談会でスーパーシティの説明を聞いている。今回出し直しになって、国は地方をどう考えているのか疑問。村も大変な苦勞をされていると思っている。1 月に国の動画をみせてもらったと思うが不評だった。お年寄りには寂しいんだよといった意見があったと思う。出し直しで見直しがされていて大変良かった。コミナースが加わって大変いいことだと思っている。

（村長回答）

貴重なご意見をありがとうございます。

自動運転車、キャビンなしのトラクターの動画で説明をしていたため、コミュニティを大切にしながらデジタル化を進めると考えていたが誤解があったのかと思う。コミュニティを大切にデジタル化を進めていきます。

（意見）

応募前の住民の意向の把握について、説明はいただいたがこういった形で意向の把握を行ったか？指定されてから、会議をつくるとなっている。区域会議が作られて住民の意向を確認するとなっているが、協議会、議会の議決、住民投票などこういった手続きを考えていられるのか？

（村長回答）

スーパーシティのターゲットであるお年寄りの QOL を高める内容のため、75 歳の方に同意書を送付し 7 割の方から同意をいただいた。高齢者は、大方この内容でよいのではないかと意見でした。導入の段階で改めて意見を聞きたいと思っています。

区域指定されてからが大切だと思っている。移動手段、健康・医療、生体認証を導入するためには、各省庁が入り JA や商工会等も含めて区域会議を開く。この技術は、もっとこうしたほうが良いのでは？の議論が必要だと考えている。ウェアラブルウォッチを導入するにしても、国の財源を期待している。有識者は補助金ありきでスーパーシティを進めるなど言っています。民間企業との連携で進めようと考えているし、民間企業の支援も必要となると考えている。予算も決まり計画ができあがり議会の議決もいただいて、究極は住民投票ですが合意無くして進めはしません。

一つだけお願いしたいと考えています。災害があつて避難指示がでました。高齢者はウェアラブルウォッチやスマホで位置情報が分かります。命を守るために速やかに行動し、避難していただくために、個人情報と一緒に位置情報を提供いただきたい。

改めて説明はするが、サポートが必要な高齢者や障がい者を守るために同意を得た方は情報の提供をお願いしたい。これは、更別だからできる災害対策です。

合意形成にあたって、例えば農家がいない技術は村もいない。生産者の意見として、50%以上が同意してくれる。できれば100%の同意となれば良いが、早く進めたいけれども進められない。デジタル化の流れは、止められない。便利だと思う人もいれば、そう思わない人もいる。住民が主体的にデジタルを使うんだといった意識改革を行っていききたい。デジタルの導入は、村長が責任をもって進める。

区域指定がされれば、同意形成はできると考えているし、しっかり進めたいと考えている。

(意見)

専門家も入り、協議会も必要だと考えているが、間違えてしまうと、JA 等も参加することが大事だが、形骸化しやすい。住民の意見の吸い上げについては、団体だけで良いのか委員の構成は十分注意したほうがよい。お忙しい団体の方で、時間が限られて会議が開かれてしまって、それでよいのか？十分配慮いただきたい。図書館について、雄武町、置戸町の図書館に行ってきたが、貸出件数も日本で上位の素晴らしい図書館である。

図書館は20年前に検討されたもので、今もしっかり取り組まれている。そういった検討を進めていただきたい。わくわくする施設が村にない。素晴らしいと思える施設がない。昔はよかったのかもしれないが今は違う。村の経済を考えて、村の住民がたくさん集える場所の整備をしっかり検討していただきたい。

(村長回答)

行政が決めたことに追随する。形式的な会議もある。本当に意見を聞いているのか？今度のエリア会議の中では、困っているお年寄りに参加していただきたい。現実の中で課題をもって、こうしたほうが良いと言える人に参加していただきたい。エリアができて中身が形式的なものになってしまつては、何のためかわからなくなる。皆のためのスーパーシティでなければならない。

(意見)

何故スーパーシティに申請して進めようとしているのか？今すぐ取り組めるものは進められるのではないのか？補助金狙いと言われているが、そうなんだと思わざるを得ない。お金が無いからスーパーシティに応募しているのか？本当に今必要なものを進めなければならないものもあるのか？独自に進めていく企業を見つけていくものもあるのではないのか？どうしてスーパーシティに応募して進めようとするのか？理由を教えてください。

(村長回答)

最初にお伝えした通り、必要なもの、やらなければいけないもの、デマンド交通は必死になって足りないこともあるが、大正交通と連携して実証しようやくここまで来た。やらなくていけないことは、スーパーシティに関係なく実施する。スーパーシティについては、ドローンのことでは搜索活動の実証もやっている。申請をしているが、規制が多くあつてなかなかできないものがある、勝手にできないわけです。たくさんの書類があつて申請しようやくデマンド交通有償運送も実施できる。ドローンも農薬を撒けないので、水で実証してやってきていた。デジタル化が進む中で、

技術があってもできないことが規制で多くある。

村は、借金を減らして、将来に向けて公共施設の更新のためコツコツやっている。5 年もすると更別村も貯金を崩して運営することになる。スーパーシティに賛同してくれる企業の方、企業誘致でも協力してもらう必要があると考えている。

今年度ようやく生まれてくれる子も30人近くになる。健康なお年寄りが多くいる。何年ぶりに住基人口がプラスになる。村の問題は、ランニングコストです。本当に困っているのは地方なので、スーパーシティで何とかしたいのです。

課題が多い地方で、課題を解決して豊かな生活を行えるようにしてほしい。現状、警察、国交省が駄目だとなるが、スーパーシティで無人運転させますとなると更別村のエリアで無人運転ができます。

有識者は大胆な規制改革を求めているが、当初は、自分のまちの課題を解決するために技術を使って解決するもので、技術を使うためには規制がありますよねと言ってたわけですから、この考え方は変わらないと思っています。でなければ、住民の同意、合意形成は図れないので形骸化されると思っています。

がんをゲノム解析でステージ1の早期に発見できれば治るのです。100歳以上の元気なお年寄りが活動的に生活している更別村になります。新しい技術でをがんを総合診療で簡単に実施できる村になるわけで、できるようになれば凄いことになると思います。

今の医療は、皮膚科、整形外科、選べるのは自由だけど、それぞれ行かないといけない。病院行かなくても良いなら行かないほうが良いです。山田先生が言ってくれるんですよ。

救急で行かなきゃいけない、がんが見つかって病院行かなきゃいけない。医療費が増えていく現状で、データを使って何とか医療費を減らしましょうよとなったわけです。

医療負担が増えて、医療に掛かる個人の費用が上がるわけです。お金の心配がない医療を目指しましょうよって先生と話しています。

20年後、継続できていると思うなと職員に伝えている。役場職員は、地域に出て、カフェに行ってお年寄りの話を聞いて課題を聞いてそれを政策に下さい言っています。もちろんデジタル化もです。職員は住民と生の声を聴いて一緒に考えて、想いをもって村づくりをしないとダメで、村長が勝手に突っ走っていると職員が思っていたら終わりなんです。住民に説明できない職員では村は衰退すると思っています。だから住民と行政が乖離するんです。